

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成12年度 期間
平成12年7月～平成13年3月 海域
日本近海、西太平洋及び東シナ海

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/234

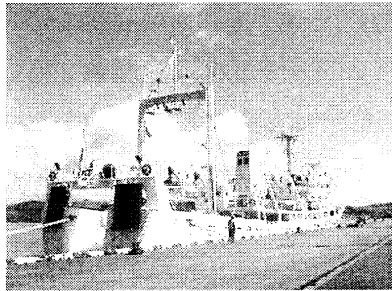
1. 平成 12 年度（2000 年度）航海報告（Report of the Cruise in 2000 Fiscal Year）

1.1 概要（General Account）

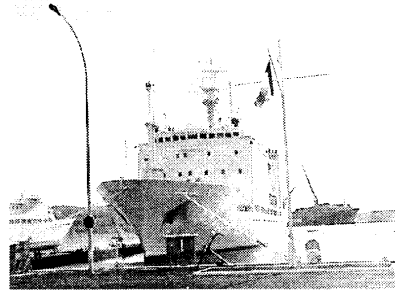
研究練習船海鷹丸の平成 12 年度（2000 年度）航海は、旧海鷹丸による航海および新海鷹丸による 3 つの実習航海とシフトや台風による避難を含め、年間 194 日航海し、24000mile 航走した。寄港地は国内 8 港、国外 6 港、約 50 回の海洋観測を実施した。専攻科乗船以降、課外授業の一環として、11 月 13 日気象庁（気象通報の重要性他）、11 月 9 日海上保安庁（電子海図の作成、保安業務一般他）、南極観測船しらせ、気象庁調査船啓風丸などへの見学を行った。

旧海鷹丸（海鷹丸Ⅲ世）最終航海

4 月中旬 1 泊 2 日の体験航海（Cruising）を 3 回実施した。旧海鷹丸の最後となる訓練航海において新入生を対象とし東京湾にて海の体験、船上基礎訓練及び大学生活に関するカンセリングを行った。その後 6 月に岡山県玉野市三井造船所岸壁に接岸し 27 年間の任務を終えた。数回にわたる南極海調査航海や湾岸戦争後のペルシア湾調査航海など練習船として多くの実績をあげた。また船尾式トールの草分けであった海鷹丸は、2 千数百万円で売却後小豆島に係留され第 2 の活躍機会を待つこととなった。



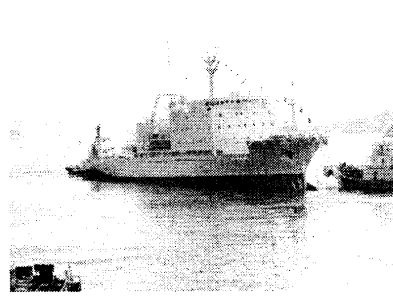
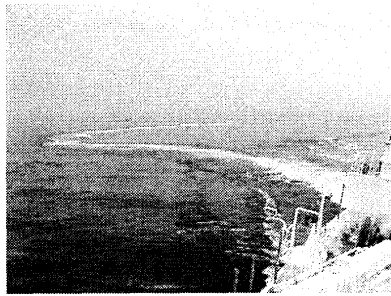
ニューカイト 碇泊



カイトン海軍ポーン碇泊

新海鷹丸海上試運転

約 1 ヶ月間の新船の工事監督及び機器の動作確認、旧船から新船への引越しや積込物品の確認作業の後、海上運転が多くの関係者とともに機関及び操縦性能試験、振動計測などの船内環境調査、調査機器の作動試験や雑音計測などの干渉調査、救命艇・救助艇などの投下機関始動試験、フィンスタビライザーやアンチローリングタンクなどの動揺試験など各機器の試験が行われた。海上試験は 2 部構成となっており、それぞれ瀬戸内海および紀伊水道を南下した水深 1000m 以上の海域で、船体関係および調査機器である潮流計や海底地形図作図等の試験がそれぞれ行われた。造船所にて備品等の積付けや機器の最終調整を終え 6 月下旬東京に回航した。



旋回性能試験

新海鷹丸（海鷹丸IV世）竣工式

文部科学省、三井造船所、漁船協会、大学関係者及び来賓（商船大学学長など）、OB会（鈴木善行会長）の参列を賜り、新海鷹丸の竣工式及び竣工披露が東京晴海埠頭及び晴海船客ターミナル 4F ホールにて行われ、船上では東京水産大学に引渡され文部所管（現在、文部科学技術省）の海鷹丸IV世となった。

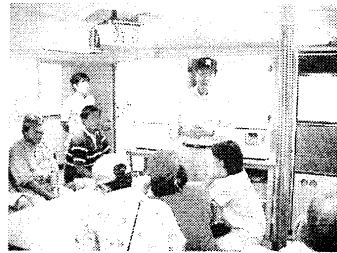
また7月4日には韓国釜山の釜慶大学練習船カヤ号が東京に寄港し、昨年の釜山寄港に引続き船内見学会を開催し、大学間及び練習船として友好を深めた。

第1次航海（各機器および操業試験を含む）

第1次航海となる夏季の乗船漁業実習Ⅱの日本周航1ヶ月航海では3年次学生を対象とし、東シナ海に於いてトロール操業実習・日本海においてイカ釣り実習・機関実習（基礎）・航海実習（基礎）を実施した。新船に伴う試験操業や各機器の調整運転試験が計画実施され、中層トロールは四国沖にてメカ立会いのもと実施された。海洋観測実習及び機器試験は、東シナ海海域において、CTD・ADCP・RMS 及び MVT（曳航式 CTD）等の観測及び試験を行うとともに海域環境の測定を実施した。また“みなと祭り”開催中の名古屋では船上での大学説明会が行われ、多くの参加者に大学紹介等入学相談を行った。また今航海は新船披露を兼ねており、各寄港地（長崎・下関・新潟・函館など）において一般公開を実施した。航海中対馬近海において台風に遭遇し突風を受けた。また日本海及び太平洋側三陸沖では濃い霧が発生し、狭視界での航行が強いられた。

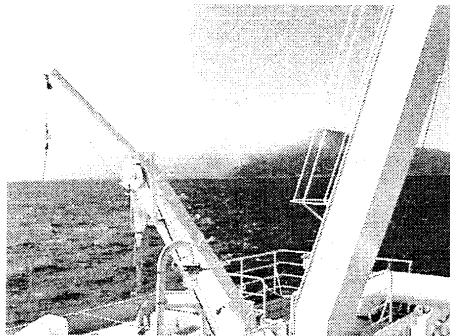
公開講座による一般対象の体験航海の実施

8月18・19日の公開講座では、東京湾の環境や海鷹丸見学など船上生活の体験講座が開かれた。一般者乗船には運輸省等から許可を受け、子供から老人を含む一般参加者による体験航海を実施した。旧船も含め一般者対象の航海は3回目となる



三宅島特別調査航海

その後三宅島噴火により泥流が発生し、10月・11月及び12月の3回にわたり三宅島調査航海が臨時に実施された。保安庁の船舶や自衛隊の艦船が監視体制の中、風下においては目やのどを刺すような火山ガスが黒い噴煙とともに火口から立ち昇り、昼間でも薄暗い状況で海洋観測や海洋生物調査が行われた。島から約1マイル沖では水中テレビロボットにおける海底に沈殿した火山泥の録画を行い、同時に採泥器による採泥を実施するなど大学全体で調査が行われ後日レポートにまとめられる予定である。



三宅島調査



三宅島噴煙

全国水産系大学練習船研究集会及び練習船協議会定期総会

東京水産大学の当番校として11月1日に舳舳リサーチコート東京で開催された。訓練記録簿、専攻科教育、独立法人化、ドック入渠工事の継続検査について協議がなされた後、海鷹丸の見学会が開催された。船内での操船シミュレーションにおいてデモンストレーションを行った。

新海鷹丸での最初の遠洋航海

12月に船内消毒、ねずみ駆除免除検査の後、12月7日に外航船資格変更となり、燃料その他免税品を積込んだ。乗員は、尿・血液検査を含む健康診断を受診した。約3ヶ月の専攻科学生の遠洋航海では、赤道及び日付変更線をそれぞれ2回横断し、中部太平洋においてマグロ操業実習、全行程において航海実習・機関実習・観測実習の各実習を行った。STCW条約による訓練記録簿の実施を昨年に引き続き行った。東京からニューカレドニアまでの公海上において緯度別の海洋観測を行なった。ニュージーランドとタヒチ間では、電気推進の運転確認の為、約10knotで3日間連続航走した。ま

たオークランド港では、検査官立会いによるPSC（ポートステートコントロール）規定での安全設備等の検査が行われた。仏領タヒチのパペーテでは、軍港のポンツーンにブイ係留でき着岸費用は無く代理店費用のみであった。ハワイのホノルル入港前、米潜水艦との衝突し沈没した練習船“えひめ丸”の現場海域では作業船による捜索作業が行われていた。行方不明者の無事を祈念するとともに本船の安全点検を再度行った。アメリカ入港前はCFR(国内法)を遵守し、法定備品等の確認および非常操舵訓練や非常発電機繰練など規定に従った訓練を実施した。ハワイから東京まで北緯20度線を西航したが東経145付近から大西風のため、最大で35m/sの向かい風の中航行した。船首設置の波高計の故障、プーパデッキへの海水打込みなどにより、一時的な船体の歪みも生じた。

年間航海実施表 (Annual Cruise Itineraries)

航海日程及び航程	乗船乗組員	乗船学生	乗船研究者等	主寄港地備考
Cruising 航海 April 10, ~ April 15, 2000	29名	150名 1年次学生	15名 教官/事務官	館山湾
代船建造にかかる工事監督等 June 2000	29名	0名	0名	岡山県玉野市
第1次航海 Nav.No.1 July 11 ~ Aug 10, 2000	29名	40名 3年次学生	4名 教官/研究員	名古屋, 長崎, 下関, 新潟, 小樽, 函館
体験航海 August. 18, 19, 2000	29名	55名 一般	名	館山
第2次航海 Nav.No.2 Oct. 2000	30名	17名 専攻科学生	名	鹿児島
第3次遠洋航海 Nav.No.3 Dec. 2000 ~ Mar. 2001	29名	18名 専攻科学生 北大研究生	3名 教官/研究員	ニュージーランド、シドニー、オークランド、タヒチ、ハワイ

年間航海実績 (Annual Cruise Log)

航海名	寄港地	期間	航程数
クルージング航海	東京 館山湾	3回×2日	6日
その他転錨			2日
ドック航海	東京 玉野三井造船		33日
第1次航海	東京 名古屋 漁場観測 五島 長崎 新潟 小樽 函館		31日
公開講座航海	東京 館山湾 相模湾		2日
第2次遠洋航海	東京 館山湾 鹿児島		15日
三宅島調査航海	東京 館山湾 三宅島 2回(5日と6日)		11日
第3次航海	東京 ｼﾞﾀﾞ ﺗﻮﾆ ﾵｰｸﾗﾝﾄﾞ ﾊﾟﾍﾟｰﾃ ﾎﾉﾙﾙ		92日
台風避難			2日
計			194日

*ただし上記には、旧海鷹丸（点線）における航海日数41日及び航走距離827.1哩を含む。また、新海鷹丸引渡し前の岡山から東京までの回航距離は含まれていない。

実習期間 (Training Term)

実習航海	実習期間	対象学生
臨海実習クルージング航海	April 17, 2000 ~ April 22, 2000	1年次学部学生
乗船漁業実習Ⅱ	July 10, 2000 ~ Aug 10, 2000	3年次学部学生
乗船実習	Aug 23, 2000 ~ Mar 23, 2001	専攻科学生

調査項目 (Survey Items)

航海名	調査機器	調査海域	実習操業
クルージング航海	CTD3回	相模湾	操船訓練
第1次航海	CTD10回、中層トロール1回、桁釣2回	日本海	桁釣漁業
第2次遠洋航海	MVP1回、底引きトロール1回	東シナ海	トロール漁業
三宅島調査航海	CTD20回、MVP2周、Histar, SMT, PRR	三宅島周辺	観測実習
第3次航海	ORInet8回、トレッジ4回、水中テレビ3回	海域	
	CTD&PRR他16回、ADCP、net17回	中部太平洋	延縄漁業

1.2 海鷹丸要目表(Particulars)

Name of Ship: UMITAKA MARU
 Kind: Training Ship, Motor Ship
 Owner: Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology
 User: Tokyo University of Fisheries
 5-7 Konan 4chome, Minato-ku, Tokyo, JAPAN

Port of Registry: TOKYO
 Call Sign: JPAT
 Ship's Number: 136932
 IMO Number: 9231078
 Name of Master: Yasusuke Takasu

Dimension: Length Overall 93.00Meters Breadth 14.90Meters
 Length (p.p.) 83.00Meters Depth (Up.) 6.25Meters

Gross Tonnage: 1886.00 Tons
 Net Tonnage: 1017.00 Tons
 International Tonnage: 3391.00 Tons
 Main Engine: Diesel Engine 6000 p.s. , Single Screw (C.P.P.)
 Cruising Speed: 17.4 Knots

Complement: Officers 18 persons Crew 21 persons
 Cadets 60 persons Professors 8 persons
 Total 107 persons

Type of Fishery: Stern trawl, Tuna long-line fishing, Squid jigging fishing, etc
 Navigation Equipment: Auto pilot system, Integrated electronic navigation system, Ship maneuvering system, Hybrid navigation system, Radar, Automatic radar plotting aids, Ship motion analysis system, Ship maneuvering system, ECDIS, GPS-GLONASS, Echo sounder, Total control system, Ring laser gyro compass, Fin stabilizer, Anti-rolling tank, etc.

Training Equipment: Maneuvering simulator, Main engine simulator, GMDSS simulator, etc.
 Research Equipment: Precise depth recorder, ADCP, Scanning sonar, Quantitative echo sounder, CTD OCTPUS analysis system, IONESS net, RMT net, MVP analysis system, ROV system, Wave height meter, OPCS, XCTD/XBT system, Beam trawl, Profiling ultraviolet radiometer and surface reference, Profiling reflectance radiometer system, Multi core sampling system etc.

Winches for Fisheries and Marine Observation:
 Trawl winch 5/3 t × 60/100 m/min 1 set
 10,000m CTD winch, one
 6,000m Multi purpose winch, one
 3,000m Clean water sampling titan cable winch, one
 MVP winch, one
 BT winch, one

このページは非表示です。

This page is hidden from view.